

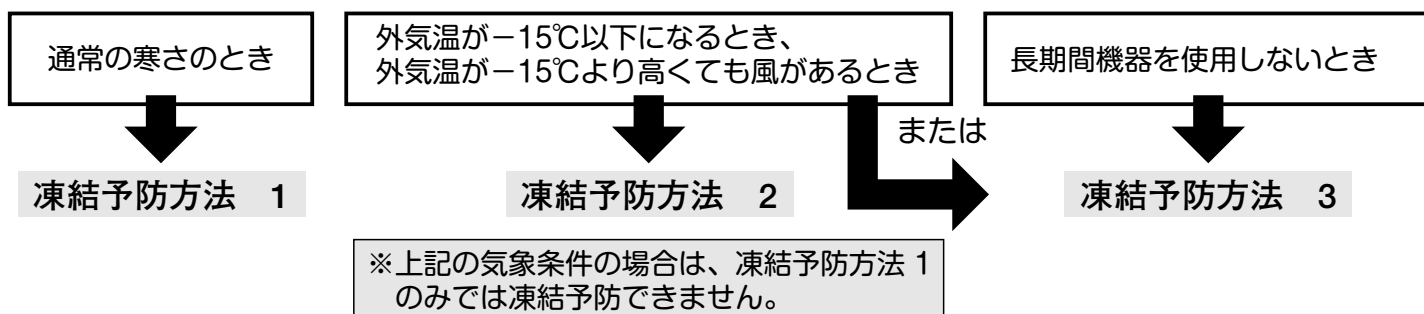
使用方法 <凍結予防>

お願い

- 冬期は暖かい地域でも給水・給湯配管、ふろ配管の水が凍結して破損事故が起こることがあります。このような事故を予防するため、以下の必要な処置をおとりください。
- 凍結しているときは機器の凍結が溶けてから使用してください。そのまま使用すると機器が破損するおそれがあります。
- 凍結による修理は、保証期間内でも保証の対象外となります。

凍結時の症状

- 給湯栓から水が出ない、水の出が悪い……………給湯配管の凍結
- ふろがわからない、循環しない……………ふろ配管の凍結
- リモコンに「エラーU2」または「エラーU3」が表示する……………ふろ配管の凍結



凍結予防方法 1

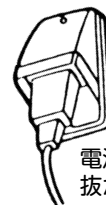
凍結予防運転による方法

凍結予防ヒータで機内の凍結予防 + 循環ポンプを運転してふろ配管の凍結予防をおこないます。

- 電源プラグは、コンセントから抜かないでください。

■給湯側

- ①給湯栓は閉めたままにしておきます。
- ②台所リモコンの運転スイッチを「入」にします。
- ③給湯温度の設定を「F」にします。
(冷え込みの厳しいときは「35℃」以上にします)



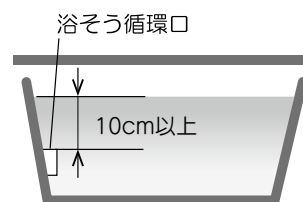
電源プラグは抜かない

- この方法は、機器の凍結は予防できますが、機外の給水・給湯配管や減圧弁・逃し弁（内蔵形は除く）の凍結予防はできませんので、必ず保温材やヒータで保温してください。

■ふろ側

- 凍結するおそれのある気温になると、循環ポンプが自動的に運転して凍結を予防します。
凍結のおそれのあるときは、浴そうに、循環口より10cm以上水を残して、循環ポンプが空運転しないように注意してください。

- この方法は、機内のふろ配管の凍結予防はできますが、機外のふろ配管の凍結予防はできませんので、必ず保温材やヒータで保温してください。また、機器や循環口との接続部についても、露出していると凍結のおそれがありますので必ず、保温材やヒータで保温してください。



使用方法 <凍結予防>

凍結予防方法 2

通水による方法

凍結予防ヒータで機内の凍結予防 + 循環ポンプを運転してふろ配管の凍結予防 + 通水操作によって凍結予防をおこないます。

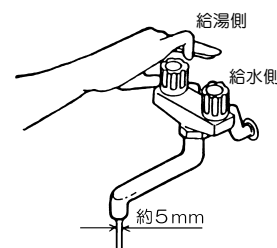
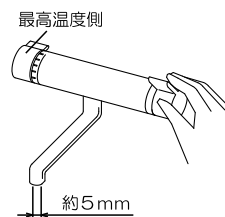
- 電源プラグは、コンセントから抜かないでください。

■給湯側

- この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管・バルブ類の凍結予防もできます。

- ①リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。
- ②給湯栓がサーモ付混合水栓、シングルレバー混合水栓の場合は、給湯栓のレバーを最高温度側にします。給湯側を開き、1分間に約400ccの水（太さ約5mm）を流したままにします。

- 水の流量が不安定なことがありますので、約30分後に水の流量をもう一度確認してください。

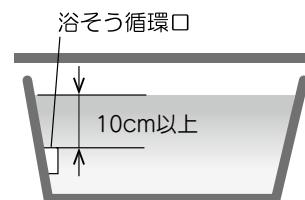


⚠注意

- 給湯栓がサーモ付混合水栓、シングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。やけどのおそれがあります。

■ふろ側

- 凍結予防方法1**と同様に、凍結するおそれのある気温になると、循環ポンプが自動的に運転して凍結を予防します。この場合もふろ配管は、しっかり保温することが必要です。
- 浴そうの水は循環口より10cm以上残してください。



- この方法は機内だけでなく、機外の給水・給湯配管・バルブ類の凍結予防もできます。ただし、機外のふろ配管の凍結予防はできませんので、必ず保温材やヒータで保温してください。また、機器や循環口との接続部についても露出していると凍結のおそれがありますので、必ず保温してください。

使用方法 <凍結予防>

凍結予防方法 3

水抜きによる方法

機内とふる配管のすべての水抜きをおこない、凍結予防をおこないます。

- 給湯運転、ふろ運転直後は熱交換器内のお湯が高温になっていますので、必ず機器が冷えてから水抜きをおこなってください。やけどのおそれがあります。

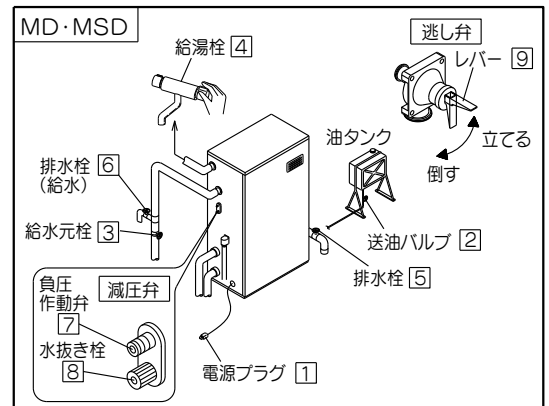
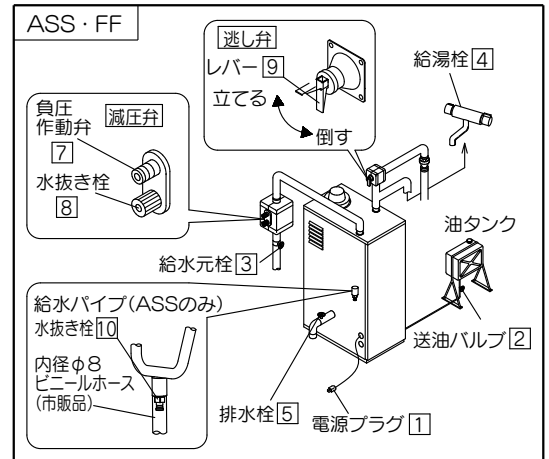
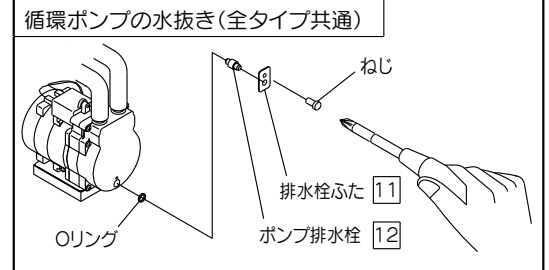
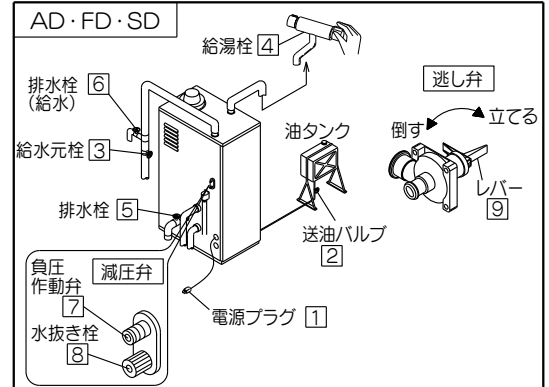
●水抜きの方法

- ①リモコンの運転スイッチを押して「切」にします。
- ②油タンクの送油バルブ②を閉めます。
- ③給水元栓③を閉めます。
- ④全ての給湯栓④を開きます。
 - サーモ付混合水栓、シングルレバー混合水栓の場合は、給湯栓のレバーを最高温度側にします。
- ⑤排水栓⑤を開きます。
- ⑥排水栓⑥（給水）を開きます。

〔内蔵形：AD・FD・SD・MD・MSD〕
- ⑦減圧弁の負圧作動弁⑦を押します。
- ⑧減圧弁の水抜き栓⑧をゆるめます。
- ⑨逃し弁のレバー⑨を立てます。

〔内蔵形：AD・FD・SD・MD・MSDは前扉をあけます。〕
- ⑩排水栓⑤から水が出なくなるのを確認します。
- ⑪浴そうの水を排水します。
- ⑫浴室リモコンの「優先」を5秒以上押し続けます。

〔「F」が表示され、およそ4分間自動で水抜き動作をおこないます。〕
- ⑬前扉をあけます。〔FF・ASS〕
- ⑭「F」の表示が消えたら、循環ポンプの排水栓ふた⑪およびポンプ排水栓⑫をはずして排水します。
 - 水が抜けたら排水栓ふた⑪およびポンプ排水栓⑫を元通り取り付けてください。
 - ポンプ排水栓⑫部のOリングをなくしたり、きずつけたりすると水漏れの原因になりますので、注意して取り扱ってください。
- ⑮基板取付板をはずし、給水パイプ水抜き栓⑩に内径φ8ビニールホース（市販品）を取り付け、水抜き栓をゆるめ給水パイプの残水を抜きます。〔ASSのみ〕
- ⑯給水パイプ水抜き栓⑩から水が出なくなるのを確認後、水抜き栓を閉めます。（基板取付板も組み付けます）〔ASSのみ〕
- ⑰逃し弁のレバー⑨を倒します。
- ⑱前扉を閉めます。
- ⑲電源プラグ①をコンセントから抜きます。



⚠注意

- 給湯栓がサーモ付混合水栓、シングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。やけどのおそれがあります。

使用方法 <凍結予防>

●水抜き後再使用する時

- ①排水栓 [5] を閉めます。
- ②排水栓 [6] (給水) を閉めます。〔内蔵形：AD・FD・SD・MD・MSD〕
- ③減圧弁の水抜き栓 [8] を閉めます。
- ④給水元栓 [3] を開き、全ての給湯栓 [4] から水の出ることを確認します。
 - 給湯栓がサーモ付混合水栓、シングルレバー混合水栓の場合は、給湯栓のレバーを最高温度側にしてから水が出ることを確認してください。また、確認後、やけど防止のため給湯栓のレバーを元の温度設定に戻してください。
- ⑤すべての給湯栓 [4] を閉めます。
- ⑥油タンクの送油バルブ [2] を開きます。
- ⑦電源プラグ [1] をコンセントに差し込みます。

以上の操作をおこなってから使用してください。